

規制改革会議
貿易タスク・フォース

平成19年11月19日
財務省提出資料

<輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」の意義、効果等の再検証等>

1. 3か年計画記載事項の検討状況

平成19年6月22日に閣議決定された「規制改革推進のための3か年計画」において、『輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」の意義、効果等の再検証等』については、【平成19年度中に結論】とされているところ、現在の検討状況についてお教え願いたい。

*以下、特に断りがない限り、本資料における「保税搬入原則」とは、『輸出におけるいわゆる「保税搬入原則』』のことを指すこととする。

- ・ 「保税搬入原則」の意義、その効果等についての再検証について
- ・ 「保税搬入原則」のメリット、デメリットの整理について
- ・ 「保税搬入原則」をはじめとする今後の現行保税・通関制度全体の改革の方向性とスケジュールを具体的に出すことについて

(回答)

1. 輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」は、税関による審査を経て許可を受けた者が適切な貨物管理を行い、税関が必要な検査等を適時に効率的に実施できる仕組みを通じて、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出の防止、輸出貨物に対する消費税に係る免税制度の適正な運用等を確保するものである。

2. 輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」を含む輸出にかかる保税・通関制度等の見直しについては、これまで、「AEO 推進官民協議会」(注)及び関税・外国為替等審議会関税分科会等の場において議論を行ってきているところである。

(注)「AEO 推進官民協議会」について

本年5月にとりまとめられた「貿易手続改革プログラム」を受け、日本版AEO制度の構築等について検討するため、財務省及び経済産業省、国土交通省等の関係府省に加え、日本経済団体連合会をはじめとする民間団体をメンバーとして本年6月28日に設置し、これまで6月28日、9月27日、10月9日及び11月12日の4回開催している。

3. 我が国産業や港湾の競争力の強化の観点等から、特定輸出申告制度の一層の利用拡大に向け取組みを強化するとともに、NACCSの利用拡大やAEO制度の対象事業者の拡大等を通じた物流事業者による厳正な貨物管理の実効性の確保や諸外国の制度の進展も勘案しつつ、輸出に係る保税・通関制度等の見直しを検討する必要があると考えているところである。

このような観点から、平成20年度関税改正に係る検討として、輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」を適用しない貨物の取扱いについて、案と論点を提示し、本年11月1日から11月15日までの間、パブリックコメントを実施したところであり、その結果も踏まえ、今後とも検討を進めてまいりたい。

<輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」の意義、効果等の再検証等>

2. 他国の事例について

「保税搬入原則」を持たない米国、韓国、イギリス、オランダといった先進諸国では、どのような代替方法にて、我が国における「保税搬入原則」の意義、効果と同等の内容を担保しているのか。これら他国の事例についての分析、ならびに他国の手法を我が国に適用する場合の課題について、検討を行っているようであればお教え願いたい。

(回答)

1. 他国の輸出に係る通関制度については、以下のように承知している。

- (1) イギリス、オランダを含むECにおいては、原則、輸出申告に際して輸出貨物を税関官署又は税関が指定する場所に搬入する必要があり、我が国と同様の制度となっている。また、コンプライアンスに優れている等一定の要件を満たし税関に認められた場合には、上記の搬入義務が免除され、自社の社屋等に貨物を置いた状態で輸出申告をすることができる特例(ローカルクリアランス制度)を設けている。
- (2) 韓国及びカナダにおいては、輸出申告(カナダは届出)に際し、貨物を特定の場所へ搬入する義務はないが、税関が検査のために必要と認める場合には、当該貨物を税関に提示する必要がある(韓国においては保税区域に貨物を搬入させ検査することもできる。)
- (3) 更に、カナダでは、貨物に係るリスクを判定し必要に応じて検査を行うため貨物の船積みの48時間前までに輸出の届出を行うこととしているほか、EUも2009年7月からは船積み24時間前までに申告を行うこととしている。
- (4) 米国においては、輸出に際して税関への申告を求める制度はないが、輸出者は商務省に対し、輸出の電子申請システムであるAES等により輸出の届出を行うことが原則であり、税関は、AESの情報等を閲覧し、必要に応じ検査等を実施している。

2. 輸出におけるいわゆる「保税搬入原則」を適用しない貨物の取扱いについては、こうした諸外国の取扱いも踏まえ、今般のパブリックコメントにおいて、案と論点を提示しているところである。